



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

ことばの力  からだの力  こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成28年6月13日



園内見学会

6月10日(金)、本年度、一回目の園内見学会でした。大勢の皆さんのご来場に嬉しく思います。

園児たちがお客様にきちんとごあいさつするのでも感心され、「我が子もこのように育てほしいと思いました。ぜひ入園させていただきたいです。」「園のオープンさも好印象です。」「年中になると人数を増やして集団行動を学んでいることに感心しました。」保護者の皆さんからのご紹介の方もおられ、ありがたく思います



個人懇談会

こちらこそ、いつもご協力いただき、ありがとうございます。



いつもお世話になり、ありがとうございます。

6月に個人懇談会を開催する理由は、夏休みに入るまでのひと月を、園と家庭で互いに意識して改善・充実にむけて実行するためです。

園生活での様子をお伝えします。「言われなくてもわかっている…。」「家ではそんなことないのに…」と、まれに感情的になられる方もおられます。が、お子さんがよりよく成長するため、貴重な情報共有の場として、ご協力をよろしくお願いします。

毎朝、登園する親子の姿からいろいろなことが見えてきます。玄関ホールから友だちと手をつないで登園するお子さんを見送りながら、ま新しい制服のスカートはまだ大きくて、その後ろ姿をみて、「スカートは大きいけど、それがかわいいね！」って微笑んで語り合っておられる保護者の姿をお見受けしました。とてもいい光景です。子育ての今、今を楽しんでおられます。先日は、「このごろちょっと疲れ気味で。」と、ご機嫌斜めのお子さんを教室まで送ってくださっていました。調子のいいときも悪いときもあります。「そんなときもありますね。」とお話すると、にっこりうなずかれるお姿に、「子どもたちは幸せだなあ。」としみじみ思います。



～ ちょっとお勧め ～

『生きるぼくら』 著 原田マハ



私は、通勤時間が貴重な読書タイムになっています。最近読んだ本ですが、車中ながら思わず涙するほど、心に響くものがありました。主人公は長年ひきこもっていた若者。どのようにして「生きる」を獲得していったでしょう。



さて、日々成長の著しい子どもたちや、懸命な職員たちに囲まれている私。「生かす」「生かされる」が目の当たりに展開され、「生きる」を実感できる環境にいます。

子どもたちをとりまく社会は、「生きる」を実感しにくいものになっています。そんな中、幼児期には人格形成の基礎を培うといわれますが…

「生きる」につながる幼児期ならではの体験が十分にできているでしょうか。

考えさせられた一冊です。

園庭で育った「えだまめ」を見つけて、「おまめさんあるよ！」って走って教えにきてくれました。「なすびも！」毎日水をあげているので、よく知っています。

